令和8年度

鹿児島版! 広域交流型オンライン学習

どこでも, 誰でも, 誰とでも, 共に学ぶことをめざした
広島大学の遠隔授業に参加しませんか!

12 月の授業（小学校）

世界に歩みだした日本

－1946年2月2日から1953年12月25日を何時代と呼ぶ？－

日時：12月3日（木）10:25 ～ 12:00
教科・学年：**小学校社会科・6年生**

1945年8月15日以降, 日本では戦後復興と民主化が進みます。1952年のサンフランシスコ平和条約で日本の占領は終わり, 主権を回復しました。

しかし, **日本の全ての地域でこのような展開を辿ったわけではありませんでした。**1946年2月2日, GHQは北緯30度以南を日本本土から行政的に切り離すことを宣言します。トカラ列島では1952年, 奄美群島では1953年, 小笠原諸島では1968年, 沖縄では1972年まで, 米国の統治が続きました。

この米国統治の期間, 特に奄美群島では何が起きていたのでしょうか。**この時代を私たちは何と名付け, 次の世代に引き継ぐべきでしょうか。**本時では, 人々の多様な活動や状況を手がかりに, **この時代の名付けに挑戦**します。この名付けを**奄美群島内外の学校で交流し**, 共に時代像を構築していきます。



教室を越えて意見交換します
（授業イメージ）





左：奄美市立奄美博物館から中継予定
右：伊仙町の泉芳朗 頌徳記念像



Digital Citizenship City

お申込はオンライン学習支援システム「TSUNAGU」から!

【TSUNAGUリンク】 https://tsunagu-dcc.com/sign-in/

ご不明点等ございましたら, **広島大学 教育ヴィジョン研究センター DCC運営オフィス**までご連絡ください。

Tel: 082-424-6809
Mail: sipstaff-evri@ml.hiroshima-u.ac.jp

TSUNAGUとは

令和8年度

鹿児島版! 広域交流型オンライン学習

どこでも, 誰でも, 誰とでも, 共に学ぶことをめざした
広島大学の遠隔授業に参加しませんか!

「1946年2月2日から1953年12月25日までを何時代と呼ぶ?」

子どもから想定される多様な回答例

① アメリカの統治時代

「この時代は, 奄美群島は日本政府ではなく, アメリカによって治められていたからです。政治を行う人が変わったことが, 大きな特徴だと思います。」観点:政治・統治

② 日本と離ればなれの時代

「奄美群島は日本本土と切り離され, 自由に行き来することが難しくなりました。もともとつながっていた人々が離ればなれになった時代です。」観点:分断・交流制限

③ 日本復帰を願う時代

「奄美群島の人々は, 日本に戻るために署名を集めたり, 集会を開いたりしました。人々が強い願いを持って行動した時代です。」観点:住民・運動

④ 取り残された時代

「1952年に日本は独立を回復しました。しかし, 奄美群島は日本に戻れませんでした。本土の人とは違う歴史を経験したので, この名前にしました。」観点:比較・不正義

⑤ 自由を取り戻す時代

「アメリカの統治に我慢するのではなく, 自分たちの自由や自立を求めて行動し, 未来を変えようとした時代と言いたいです。」観点:自由・変革

⑥ 奄美が団結した時代

「奄美群島では, たくさんの人が復帰を願って力を合わせました。人々が島を越えて同じ目標に向かって協力した時代を忘れたくありません。」観点:集合的行動・連帯

⑦ 島々の努力の時代

「戦争が終わっても, すぐに生活がよくなったわけではありません。それぞれの島が地域の事情に応じて産業を興し, くらしの向上に努めた時代でした。」観点:生活史・多様性

⑧ したたかな工夫の時代

「アメリカの統治下でも, 人々は学校や町を立て直し, 本土とこっそり取引したり, 文化を守りながら暮らしていた, したたかな時代だと思います。」観点:社会の継続・取引

⑨ 戦争が終わらない時代

「奄美群島では, 1953年までアメリカの統治が続いていました。1945年で戦争が終わらず, どこよりも戦争の影響が残った時代と表現したいです。」観点:戦争の影響

⑩ 2つの日本があった時代

「本土と奄美群島は, 同じ日本なのに異なる経験をしました。場所によって多様な歴史や見方があることを伝えたいです。」観点:複数の歴史・歴史観の違い

Digital Citizenship City

お申込 はオンライン学習支援システム「TSUNAGU」から!

【TSUNAGUリンク】 https://tsunagu-dcc.com/sign-in/

ご不明点等ございましたら, **広島大学 教育ヴィジョン研究センター DCC運営オフィス**までご連絡ください。

Tel: 082-424-6809
Mail: sipstaff-evri@ml.hiroshima-u.ac.jp

TSUNAGUとは